

「宇都宮市子ども読書活動推進計画（案）」に関するパブリックコメント実施結果について

1 意見提出者の内訳

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	計
男性									
女性		2				1			3
計		2				1			3

2 提出方法別の内訳

	郵送・通送	ファックス	Eメール	その他	計
件数			3		3

3 意見の概要と市の考え方

意見の概要	意見に対する市の考え方
<p>計画に数値目標をたてていただきたい。特に司書教諭・学校司書の配置を100%になるようにしてほしい。</p> <p>静岡県読書活動推進計画・努力目標を参考とした場合の数値目標例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館の蔵書数</li> <li>・図書標準を達成している学校数の割合</li> <li>・学校司書を配置している学校数の割合</li> <li>・一斉読書活動を実施している学校数の割合</li> <li>・読書週間、子ども読書の日等に読書啓発に取り組んだ学校数、公立図書館数の割合</li> <li>・読書ボランティア養成人数</li> <li>・図書館を設置している市町村数の割合</li> </ul>	<p>数値目標の設定に関しては、子どもの読書活動が多岐にわたるものであり、現時点では計画全体の進捗状況を反映する、適切な目標や数値を設定することが難しいことから、この計画では、一般的な「1か月間の読書量」、「不読率」、「図書館の児童書の貸出冊数」を指標とし、目標に掲げました。</p> <p>ご提案の数値目標例は、今回盛り込みませんでした。今後の参考とさせていただきます。</p> <p>また、司書教諭・学校司書などの配置については、施策や計画の重点事業のひとつとして位置づけております。</p>
<p>市が推進計画を策定することは、長年子ども達に読書の楽しさを伝えたいと努力してきた身にとって嬉しい。本市は学校図書館の蔵書数、専任司書教諭の配置などで全国レベルより低い状態にある。重点事業の6と8は必ず実現していただきたい。特に8は、正規職員であってほしい。</p>	<p>重点事業の6、8については、着実に事業の具体化に努めていきます。また、学校図書館については、重点事業7の「市図書館と学校図書館のネットワークの整備」により、市図書館の蔵書や図書館サービスを活用した学校図書館への支援を行い、充実を図っていきます。</p>
<p>目標とそれに伴う事業計画が明確で素晴らしい。読書活動の推進は計画として実施してもすぐに効果がでるものではなく、地道な活動によって徐々に効果が出ると思う。一人でも多くの本市の子どもたちが本を読み自分にとっての「よい本」を見つけていけることを願っている。宇都宮に帰ったら読書推進活動の手伝いをしたい。</p>	<p>この計画は、市民の皆様との協働で進めていくものです。今後も計画の目標の実現に向けて、読書推進事業への参加や活動の実践などご協力をお願いいたします。</p>